

令和4年度 狭山市立山王中学校 教職員自己評価

	番号	項目	A	B	C	D	所見
学校・学年・学級経営全般	1	学校の重点目標が明確	71%	29%	0%	0%	○どの項目も概ね肯定的な評価となっている。しかし次のような課題もあるので改善を進めていく。 ・重点目標等を保護者にどのように浸透させるかが難しい。 ・校務分掌に担当する職員の偏りを解消し負担の平準化を図る。 ・学級経営は各担任が工夫しながら潤いのある学級づくりに取り組んだ。 ・清掃や給食などの指導で若干学年・学級間での差異が見られる部分もあり、さらに共通理解を深めるとともに生徒への指導も徹底できるようにする。
	2	学校教育目標等の保護者への浸透	38%	57%	5%	0%	
	3	経営方針に共通理解・実現の努力	57%	38%	5%	0%	
	4	分掌の内容や責任が明確	43%	52%	5%	0%	
	5	分掌が機能し連携された	38%	52%	10%	0%	
	6	各分掌組織が合理的に編成	33%	52%	14%	0%	
	7	教育計画は経営方針を具体化するように編成	38%	62%	0%	0%	
	8	授業時数の確保の努力	62%	33%	5%	0%	
	9	開かれた学校づくりの実現	57%	43%	0%	0%	
	10	教育計画実施の担い手であるという自覚	57%	43%	0%	0%	
	11	学校・学年・学級経営の方針の一貫性	48%	43%	10%	0%	
	12	計画的・意図的な学年・学級経営	43%	48%	10%	0%	
	13	生徒の自己決定の場の設定	33%	67%	0%	0%	
	14	清掃が行き届ききれい	29%	57%	14%	0%	
	15	朝の会、給食、帰りの会などに工夫改善	43%	43%	14%	0%	
教科指導	16	わかりやすい授業が展開されている	57%	43%	0%	0%	○どの教師も熱心に教材研究に取り組みより良い授業に向けて努力している。 ・家庭学習をさらに定着させる。
	17	落ち着いて学習に取り組んでいる	62%	38%	0%	0%	
	18	基礎的基本的な学力の定着	24%	62%	14%	0%	
	19	家庭学習の習慣化	10%	52%	38%	0%	
道徳教育	20	「考え、議論する道徳」授業の実践	29%	67%	5%	0%	○ローテーション道徳を導入し学年全員で取り組んでいる。 ・情報発信については工夫改善の余地がある。
	21	全教育活動を通しての道徳教育	29%	67%	5%	0%	
	22	道徳の時間の計画的実践	33%	57%	10%	0%	
	23	道徳授業の公開・情報発信	38%	38%	19%	5%	
特別活動・学校行事	24	主体的な活動を重視した特活指導計画	33%	67%	0%	0%	○コロナ禍でできる範囲で工夫した特別活動・学校行事を行った。 ・生徒朝会の工夫、各委員会の常時活動の充実を図る。 ・負担が主担当の教員に集中するので、改善が必要である。
	25	自主的な実践を促す特活指導	48%	48%	5%	0%	
	26	特活に係る資料の累積による改善	48%	48%	5%	0%	
	27	生徒会活動・生徒朝会の充実	43%	52%	5%	0%	
	28	行事における職員分担・協力性	29%	48%	24%	0%	
	29	学校行事が計画的に実施	57%	38%	5%	0%	
	30	学校行事で生徒の自己実現が図られた	57%	43%	0%	0%	
生徒指導・教育相談	31	生徒は学校生活が楽しいと感じている	19%	81%	0%	0%	○生徒指導部会・教育相談部会を毎週実施し、担任だけでなく学年チームで対応するようにした。また三者相談やアンケートを定期的の実施し、悩みの早期発見につなげた。 ・集団へなじめない生徒や不登校生徒の効果的な対応について今後も研修を深める必要がある。
	32	教育相談活動が計画的に実施	67%	33%	0%	0%	
	33	基本的な生活習慣が定着するよう指導	38%	57%	5%	0%	
	34	いじめや不登校の指導	38%	62%	0%	0%	
	35	生徒の言葉遣い	38%	57%	5%	0%	
	36	生徒の挨拶	10%	67%	19%	5%	
	37	生徒の時間行動	62%	33%	5%	0%	
	38	生徒の校則遵守	33%	67%	0%	0%	
	39	生徒指導の共通行動	43%	52%	5%	0%	
進路	40	計画的な進路指導	43%	52%	5%	0%	○発達段階に応じた進路指導を実施した。 ・情報発信が課題である。
	41	自己の生き方について考える進路指導	38%	62%	0%	0%	
	42	進路情報が分かりやすく適切に提供	38%	57%	5%	0%	

	番号	項目	A	B	C	D	所見
保健安全指導	43	給食指導が適切	71%	29%	0%	0%	○コロナ対応は家庭の協力も得ながら適切に行えた。ケガや体調不良者への丁寧な対応を心がけた。昼休みに校庭で遊ぶ生徒が少ないのが課題だが、体育委員会がキャンペーンを行って成果が見られた。
	44	健康観察が丁寧	81%	19%	0%	0%	
	45	危険な行動への指導	62%	38%	0%	0%	
	46	健康や体力向上に進んで取り組む指導	52%	48%	0%	0%	
	47	治療勧告	81%	19%	0%	0%	
	48	事故に対する対応	71%	29%	0%	0%	
	49	性に関する指導が共通理解のもとに実施	48%	43%	10%	0%	
会議	50	会議の開始時刻厳守	67%	29%	5%	0%	○円滑に実施することができた
	51	会議で建設的な意見・進行への協力性	48%	48%	0%	5%	
	52	会議の内容理解、実行	52%	48%	0%	0%	
服務	53	服務の厳正	90%	10%	0%	0%	○教職員は大変まじめな勤務態度であり、職務に専念することができた。 ・超過勤務が常態化しているので、働き方改革を具体的にどのように進めていけばよいのかが大きな課題となっている。
	54	自己評価シートの内容が実行	43%	57%	0%	0%	
	55	個人情報の保護	95%	5%	0%	0%	
	56	ゆとりを持った出勤	76%	24%	0%	0%	
	57	服装、言葉遣い、挨拶等	62%	38%	0%	0%	
	58	健康維持増進	33%	62%	5%	0%	
	59	自己研修	71%	29%	0%	0%	
	60	校内研修の充実	48%	48%	5%	0%	
	61	率先垂範	33%	67%	0%	0%	
施設設備・事務処理	62	施設・設備の安全管理	48%	52%	0%	0%	○施設設備・環境整備・諸事務については事務職員や校務員等の献身的な働きが見られた。 ・放課後の施錠等の最終確認については、勤務時間との絡みもあり課題となっているが、教員の協力によって概ねよくできた。
	63	備品の把握・有効利用	52%	43%	5%	0%	
	64	確実な施錠・後始末	52%	38%	10%	0%	
	65	掲示施設が活用、掲示教育が積極的	38%	57%	5%	0%	
	66	生徒は環境整備に積極的に参加	43%	57%	0%	0%	
	67	出勤簿の押印	71%	24%	5%	0%	
	68	旅行命令簿の記入	86%	14%	0%	0%	
	69	出席簿の記入処理	76%	19%	5%	0%	
	70	文書の起案・発出	67%	29%	5%	0%	
	71	現金の取扱・会計事務	62%	29%	10%	0%	
保護者地域	72	家庭訪問・面談・保護者会等	81%	19%	0%	0%	○家庭訪問や保護者会は計画どおり実施できた。昨年度までできなかった地域連携行事も徐々に行えた。
	73	情報発信	71%	29%	0%	0%	
	74	保護者や地域と連携	62%	38%	0%	0%	
	75	PTAや地域の活動への参加	38%	52%	10%	0%	
総合	76	総合は生徒の興味をそそる	43%	52%	5%	0%	・主題を設定した探究的な学習活動が各学年でできるようにする。
	77	総合は計画的に実施	48%	43%	10%	0%	
	78	総合の評価	43%	52%	5%	0%	
人権	79	人権教育で全体計画、年間指導計画を活用	57%	33%	10%	0%	○人権作文づくりやいじめ防止強調月間を通して意識化を図った。 ・学習活動の授業への位置づけが課題
	80	人権教育への共通理解	52%	43%	5%	0%	
	81	全教育活動を通じて人権教育	57%	43%	0%	0%	
健康	82	生徒の体力を高めている	52%	48%	0%	0%	○概ね良好だが、生徒による意識の差が課題でもある。
	83	体育や部活動に意欲的	52%	43%	5%	0%	
	84	健康を意識した生活	33%	57%	10%	0%	